



碧南ロータリークラブ週報

第3093回例会 令和6年5月22日(水)

- 会長 角谷 信二
- 幹事 杉浦 栄次
- 会場監督(SAA) 岡島 晋一

2023-2024 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 長田一希・牧野勝俊・杉浦秀延



世界に希望を生み出そう

●齊 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

株式会社 棚久 代表取締役 永井千春様
第 2660 地区 池田くれはR C 坂田妙子君

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。本日も例会へのご出席ありがとうございます。

先週は年間にお休みをするということで、樫山副会長には大変ご苦勞をかけたということと、杉浦幹事もどうしても外せない仕事があったということで、樫山副会長、大竹副幹事、ありがとうございました。

私も 12 日に RFF に参加をしてまいりました。せっかくチケットを購入しておりましたので、前にお話しした通り、奥さんが付き合ってくれるということで、チケットを有意義に使わせていただきました。地区より協賛のお話もありましたので、ちゃんと名前があるかなあという確認をしましたが、私と樫山副会長と杉浦幹事の会社名はちゃんと一番下の小さなところに載っておりました。来年もまたお願いがあると思いますので、是非協賛をしていただきたいというふうに思っております。

話が変わりますけれども、警察の車両ということで、パトカーを思い浮かべられるかと思うんですが、他にも警察が使用する車両がございまして、それを運転するのに A、B、C の 3



角谷信二会長

ランクがあるそうです。A は朝、日中、夜でもサイレンを鳴らして出動できるという資格でございまして、B は日中と夜は運転してもいいんですが、サイレンを鳴らしてはいけない、C は日中しか運転してはいけないということで、当然サイレンも駄目だということでございませう。パトカーは当然 A の資格がないと困る訳でございませうので、皆さん方は A の資格を取られる訳ですが、大変実技が難しいそうで、1 回で合格される方はかなり少ないということでございまして、なかなか警察もしっかりしているなあというふうに思います。あと、白バイも当然資格がいるということで、警察に入られてから講習をしっかり受けて試験に臨まれるそうです。超難しい実技だそうで、それに合格して晴れて白バイに乗れるということで、本当に陸上の戦闘機と言いますか、警察の花形の白バイかなあというふうに思います。

週末、国際大会（シンガポール）へ 5 人ほどで行ってまいります。次週はそんなお話もできたらなあというふうに思いますので、懲りずに聞いていただければと思います。

本日もよろしくお願ひします。

幹 事 報 告

幹事報告を申し上げます。

- ・ 2024-2025 年度地区大会事務局より 2024-2025 年度地区大会実行委員会事務局開設のご案内が届いております。
- ・ 5 月 29 日（水）は休会でございますので、お間違ひのないようによろしくお願ひ致します。次回は 6 月 5 日（水）になります。
- ・ 6 月 5 日（水）の例会終了後に第 12 回の理事会を開催致しますので、理事、役員の皆様はご予約をよろしくお願ひ致します。
- ・ 先週も回ささせていただいたと思いますけれども、緑の募金を回させていただきますので、よろしくお願ひ致します。



杉浦栄次幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 62 名（内出席免除者 13 名の内出席者 11 名）出席者 53 名	
出席対象者 53 / 60 名	出席率 88.33%
欠席者 9 名（病欠者 0 名）	

<ニコボックス>

角谷 信二君 } 碧南市新川出身で、大阪の池田くれは R C 坂田妙子様、ようこそ碧南クラブへ。楽しい時間を過ごして下さい。
縦山 朋久君 }
杉浦 栄次君 }

角谷 信二君 縦山副会長、大竹副幹事、先週はありがとうございました。
石川 鋼勇君 本日の卓話講師 永井千春様を紹介させていただきます。

卓 話

「野菜のおいしさ、愉しくつなげる」 株式会社 棚久 代表取締役 永井千春様



永井千春様

本日、こちらにお招きいただきました株式会社棚久の永井千春と申します。どうぞよろしくお願い致します。

私は株式会社棚久の代表を務めておりまして、にんじん・たまねぎの生産と並行して、野菜を愉しむということを伝え広めています。皆さんからは「にんじんちゃん」と呼ばれておりますので、よろしければ憶えていただけると大変ありがたいです。

自己紹介をしたいと思います。私は棚尾育ち、棚尾在住で、コテコテの棚尾の人です。私が長女で妹が1人になりますので、勝手に後継ぎの農家の娘というような形で育ってきました。なので、絶対に農業高校に行って、岡崎にある農業大学校に行って、後を継ぐものだと思われてきたんですけれども、高校受験の時、普通科に行きたいと思って、そのまま普通科の高校に進学しました。高校生の時に管理栄養士という職業を知って、私はこれになると思ひまして、そのまま管理栄養士の専攻がある大学に進学しました。そして、管理栄養士になる訳ですけれども、大学卒業後、管理栄養士として就職するものの全然馴染めなくて、すぐに辞めるという、なんともひどいことをやっておりました。

その後ですが、食に関わる仕事からは離れられなくて、主に飲食店の仕事をしてまいりました。その中で、野菜に触れる機会がいっぱいあって、野菜ソムリエという資格の存在も知って、受講し、取得をしました。そんなこんなで飲食に関わって働いていたんですけれども、段々と疑問や不安を感じるようになりまして、そこから就農を考えるようになります。その時にたまたまご縁をいただきまして、愛知県立農業大学校が開催しているニューファーマーズ研修という10ヶ月ほどの座学中心の研修を受けまして、父の元に就農する訳です。勉強している中で、やっぱり野菜の魅力を伝えたいという思いがありまして、自主的に野菜教室を開催しておりました。

そして、2014年に親元に就農するんですけれども、この時に決めてたことが1つありまして、畑で作業するだけは絶対に嫌だということです。それに付加価値として自分がしてきた経験を重ねて農業をするんだっていうことを思っていました。なので、野菜講座、野菜のイベント、文化教室、食に関する専門学校の非常勤講師、野菜レシピの開発、野菜のイラストを書くということもやってまいりました。

先ほどご紹介していただきましたが、農林水産省が運営している農業女子プロジェクトのメンバーになっておりまして、現在で約1,000人のメンバーが登録をして全国で活動をしています。女性農業者の持っている知恵と企業様の持っているノウハウを掛け合わせて、社会に何か提供していく、貢献していくなんていうことをやっています。私は昨年度、この農業女

子プロジェクトの事業で、中部圏の農業女子だけだったんですが、東京農業大学さんと名古屋の繊維メーカーさんとコラボレーションという形で、野菜の端材を使って布地を染めて、その染めた布地でファッションアイテムを作ってはどうかというプロジェクトに参加しました。

そんなこんなで農業と+αということをやってきましたんですけれども、2018年に父から事業承継しまして、その際に法人化をしました。そして、先ほどご紹介していただいたんですが、2023年に中日農業賞優秀賞をいただくことができました。

株式会社棚久ですけれども、私の曾祖父が昭和の初期頃に色んな野菜を作って市場に持って行っておりました。それが始まりになります。その後、2代目の祖父が同じように色んな野菜を作って市場に持って行ったり、それから農協さんに卸すということをはじめていました。3代目の私の父が事業を受け継いだ時にこれじゃあ駄目だと思ったそうで、規模拡大、機械化、省力化ということを地域や農協さんとともに推し進めてまいりました。それで、にんじん・玉ねぎの専業の現在の形が出来上がってきました。

棚久の企業理念は「たかがにんじん・されどにんじん」です。実はこれは父の口癖で、私が就農した頃からことあるごとに教えられてきました。言葉の意味は凄く深くて、にんじんなんでどこでも1年中1本30円とかで売っているぐらいのものなんですけれども、育ててみると奥が深いぞ、甘く見ちゃあかんぞなんていうことをこの言葉を通じて私に一生懸命教えてくれているんだなというのを感じまして、企業理念とさせていただきます。

棚久のビジョンは「野菜のおいしさ・愉しくつなげる」という本日のテーマです。実はこのビジョンを作るに至って、私の中でやってよかったなということがありますので、ご紹介をしたいと思います。今回のテーマにさせていただきます。このテーマはふるさと兼業というものを活用させていただきました。一昨年に碧南市のふるさと返礼品の担当の方から、中部経済産業局の補助事業でふるさと兼業をやることができるという情報をいただきまして、なんとなくやってみたら、マッチングしたのが色の専門家であり、ブランディングのプロという方だったんです。実際に携わってみると凄いなって思うことがたくさんあって、その際に棚久のカラーパレットというものを作っていただきました。2000色ある中から16色を選んでいただいたという感じです。

こんなふうにしてビジョンを作ったり、ふるさと兼業を最大限に活用して、現在、棚久はやっております。父がやってきてくれた大規模化というところと、価値を深めていくというところを上手に結び付けて、今後もやっていけるといいなと思っております。

先ほどから出てきている野菜教室とは何かということで、ここでぷち野菜教室をやらせていただきたいと思います。私が野菜教室をやる時に必ずと言っていいほど話す3つのことがあります。1つ目は「野菜を愉しむのに大切な要素、ヒトの5つの感覚(五感)ってなあに？」です。いかがでしょうか。正解は「味覚・視覚・嗅覚・聴覚・触覚」です。2つ目は「五感の1つの味覚における5つの味(基本五味)ってなあに？」です。いかがでしょうか。正解は「甘味・酸味・塩味・苦味・うま味」です。3つ目は「野菜を愉しむ3つのキーワード」をご紹介したいと思います。そのキーワードは「オリジナリティ・クオリティとクオンティティ・アティチュード」です。いつも見ているところとちょっと違うところから見ると、他にも

楽しい点があることに気付いてもらえたらと思って、野菜教室では最初にご説明をさせていただいています。

私はあくまで農業法人の代表で、農家の娘ですけれども、農業を通じて食を楽しむこと、野菜ってもっと楽しいんだよということを伝え広めたいと思って、このような活動をさせていただいております。私のお話は以上となります。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和6年6月12日（水）

卓話「FC刈谷（サッカークラブ）が新しい地域の価値となるために」
三河ベイフットボールクラブ株式会社 執行役員 水木将人氏